

経営比較分析表（令和3年度決算）

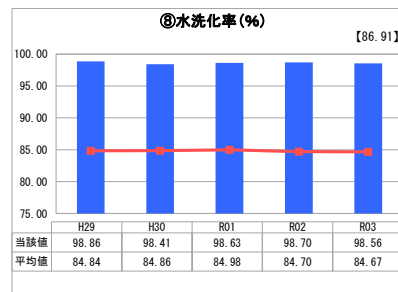
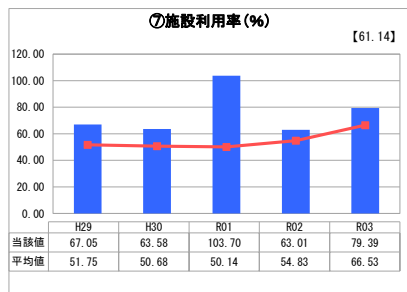
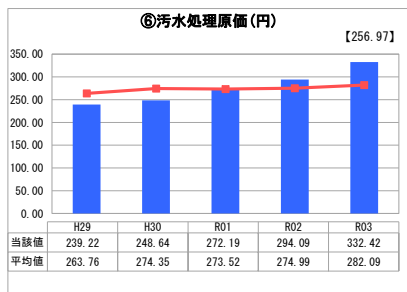
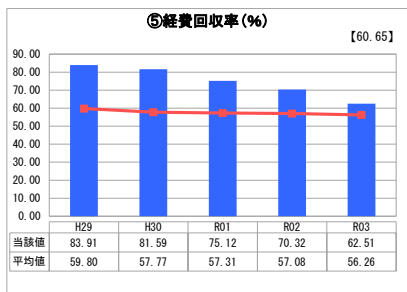
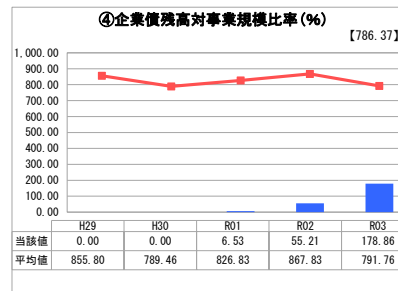
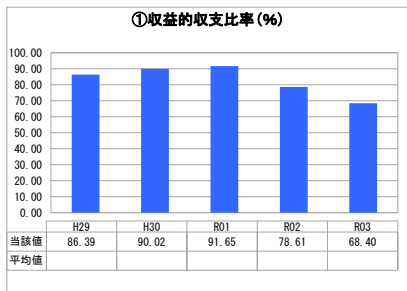
北海道 南幌町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	5.66	74.60	3,924

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,378	81.36	90.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
417	0.20	2,085.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
比率は100%以下となっており、使用料収入だけでは費用を賄うことができず、一般会計からの繰入金で補っています。

④企業債残高対事業規模比率
地方公営企業法の適用に要する経費及び適用債借入れが増加しているが、企業債残高は償還終了に伴い減少傾向にある。

⑤経費回収率
回収率は、類似団体平均値と比較して高い数値で推移しているが、100%に達していないことから汚水処理費の削減、適正な使用料収入の確保が課題である。

⑥汚水処理原価
類似団体平均値をやや上回っており、今後も維持管理費の削減に向けた取り組みを行っていく必要がある。

⑦施設利用率
類似団体平均値を上回っているが、近年やや下降傾向にあります。

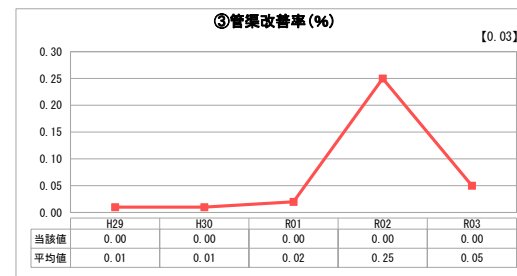
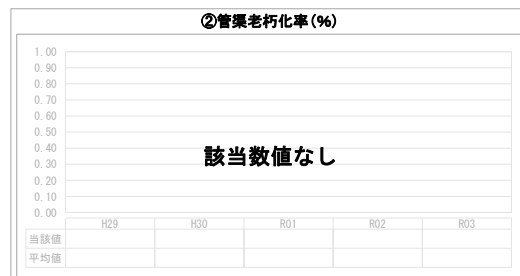
⑧水洗化率
概ね100%に近い数値となっており、類似団体平均値より大きく上回っていることから、汚水処理については適正に行われていると考えられる。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業の実施は平成3年度より行われており、30年経過しています。一般的に管渠の基準の耐用年数は50年となっていますが、老朽化対策として定期的に管渠調査を行い、管渠の状況を確認し維持補修していく必要があります。

また、令和元年度に機能診断により最適整備構想を策定しており、年次計画に基づき、管渠及び処理施設の更新を検討します。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設の老朽化に伴う維持管理費の増加や、人口減少等による使用料収入の減少が見込まれることから、汚水処理費を料金収入のみで賄いきれない状況にある。それに伴い一般会計繰入金も増加すると考えられることから、今後においても更なる経営改善に向けた取り組みを行っていく必要があり、最適整備構想計画に基づいて計画的かつ効率的に管渠及び処理施設の更新を行っていく必要があると考える。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。